

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	創価女子短期大学
設置者名	学校法人 創価大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	国際ビジネス学科	夜・通信		13	28	41	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ「教育情報の公表」 <a href="https://wwwstorage.soka.ac.jp/1917/7828/7299/21-2026HP.pdf">https://wwwstorage.soka.ac.jp/1917/7828/7299/21-2026HP.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	創価女子短期大学
設置者名	学校法人 創価大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.soka.ac.jp/about/intro/boardmember">https://www.soka.ac.jp/about/intro/boardmember</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(現) 宗教法人創価学会 責任役員	令和7年6月27日～ 3年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	
非常勤	(現) 学校法人創価学園 常任理事、東京学園参事	令和7年6月27日～ 3年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	
非常勤	(現) AGBIOTECH 株式会 社取締役会長	令和7年6月27日～ 3年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	

		時まで	
非常勤	(現) 宗教法人創価学会 国際渉外局局長	令和7年6月27日～ 3年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	
非常勤	(前) 宗教法人創価学会 職員	令和7年6月27日～ 3年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	
(備考) 学外理事5名のうち、5名を記載する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	創価女子短期大学
設置者名	学校法人 創価大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  本学では、全教員(専任・非常勤)が授業計画(シラバス)を作成し、学内だけでなく、学外にもホームページにて公開をしている。                  作成スケジュールは以下の通り。①前年度の2月上旬に「シラバス作成のガイドライン」等を全教員に配布し、作成を依頼。②教員は3月上旬までに作成。③学科長が3月下旬までにシラバスの内容チェックを実施。④シラバスを当該年度の4月から公表。</p> <p>シラバスの内容は、①科目名、②単位数、③教員名、④開講期、⑤到達目標、⑥授業概要、⑦各授業回の授業計画(内容、事前事後学習の内容など)、⑧教科書、⑨履修上のアドバイス〔毎週の授業に必要な学習時間(小テスト、レポート、課題など)〕、⑩学習成果の内容・評価方法・配点率・学科の学習成果項目、⑪評価方法である。なお、実務経験のある教員による授業科目については、その実務経験を記載し公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	本学ホームページ「シラバス検索」 <a href="https://plas.soka.ac.jp/csp/plas/syllabus12.csp">https://plas.soka.ac.jp/csp/plas/syllabus12.csp</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)                  「創価女子短期大学学則」、「創価女子短期大学成績に関する細則」ならびに「創価女子短期大学履修規程」に基づき、成績は試験及びレポート等の成績、出席状況等を総合して評価し、合格点に達した科目について、それぞれ単位を認定している。                  本学の成績評価は、<b>A</b>、A+、A、B+、B、C+、C及びDの8級に分ち、C以上を合格、Dを不合格としている。ただし、PF評価科目の成績評価についてはこの限りではない。また授業時数の3分の1を超えて欠席した場合の成績評価はN(不合格)、他の大学で修得した既修得単位や、別に定める検定・資格、外国の大学で修得した単位を認定する場合の成績評価はRとしている。                  全教員は各科目のシラバスに記載した学習成果の内容・評価方法・配点率に従い、GPで評価を行う。                  詳細は本学ホームページに記載  <a href="https://wwwstorage.soka.ac.jp/3517/4840/8504/Student_Life_2025.pdf">https://wwwstorage.soka.ac.jp/3517/4840/8504/Student_Life_2025.pdf</a> </p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  「創価女子短期大学学則」、「創価女子短期大学成績に関する細則」および「創価女子短期大学履修規定」に基づき、GPA制度にて成績評価を行っている。GPAは履修登録科目それぞれのGPとその単位数を掛けた数値の総和を、R評価科目およびPF評価科目を除く履修登録科目のそれぞれの単位の総和で割り、算出している。</p> <p>本学ホームページに掲載  (履修・GPA) 国際ビジネス学科について-履修の手引き・GPA 算定方法  (<a href="https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/">https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/</a>)</p> <p>(成績分布状況)教育情報の公表-学修成果に係る評価、卒業・修了認定の基準  (<a href="https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu_information/degree/gpabunpu">https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu_information/degree/gpabunpu</a>)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ  <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/">https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  「創価女子短期大学学則」ならびに「創価女子短期大学学位規則」に基づき、本学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。卒業要件となる所定の単位は62単位、教養科目22単位、専用科目40単位以上としている。なお、卒業は年に2回(9月卒業、3月卒業)実施している。</p> <p>また本学では、以下のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)を策定し、ホームページで公表している。</p> <p>&lt;ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)&gt;  国際ビジネス学科では、以下の学識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位(短期大学士)を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識・理解  地球市民として求められる英語力や教養を身につけ、ビジネスに関する知識を修得している。</li> <li>2. スキル  ビジネススキル、コミュニケーションスキル、情報リテラシーを身につけ、活用できる。</li> <li>3. 思考・判断  ビジネスと英語の知識やスキルを活用して、問題解決に必要な思考力や判断力を身につけている。</li> <li>4. 関心・意欲・態度  目標を定め、実行し、評価できる自己管理能力を身につけ、多様な価値を尊重しながら、他者や社会に貢献するチームワーク力が発揮できる。</li> </ol>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページ  <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/about/overview/">https://www.soka.ac.jp/swc/about/overview/</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	創価女子短期大学
設置者名	学校法人 創価大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>
財産目録	<a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>
事業報告書	<a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画 対象年度: 2026年度)
公表方法: <a href="https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/">https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/</a>
中長期計画(名称: 学校法人創価大学中長期計画 対象年度: 2021~2030年度)
公表方法: <a href="https://www.soka.ac.jp/about/managementplan">https://www.soka.ac.jp/about/managementplan</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://wwwstorage.soka.ac.jp/5717/7950/4689/2025.pdf">https://wwwstorage.soka.ac.jp/5717/7950/4689/2025.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.soka.ac.jp/files/swc/20220325_171212.pdf">https://www.soka.ac.jp/files/swc/20220325_171212.pdf</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際ビジネス学科
教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu_information/purpose/">https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu_information/purpose/</a> ) (概要) 【本学の教育目標】 本学は、創立者池田大作先生が示された「知性と福德ゆたかな女性」「自己の信条をもち人間共和をめざす女性」「社会性と国際性に富む女性」という 3 つの建学の指針を教育方針とし、社会において有為な女性リーダーとして活躍できる人材の育成を目指しています。そのために、「人類の幸福と平和を創造する地球市民の育成」とのスローガンのもと、以下の教育目標を掲げています。 1. グローバルな視野を持ち、人類的課題への関心を深め、その解決に努力する資質を養う。 2. 人間主義に基づき、調和と連帯をはかりながら、地域や社会の繁栄に貢献できる能力を培う。 3. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、自他ともの幸福を実現しゆく人格を育む。  【人材養成の目的】 本学の教育目標に基づき、以下のように人材養成の目的を明確にして教育に取り組んでいます(創価女子短期大学学則第 4 条に規定)。 イ 女性としての生き方や働き方を展望し、幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、自らの可能性を開きながら、自他共の幸福を築くことができる人材を養成する。 ロ ビジネスの知識とスキルを修得し、創造的思考力、問題解決力を発揮し、社会で活躍できる人材を養成する。 ハ 実践的な英語力と情報リテラシーの教育を通し、グローバル社会で、他者との連帯と調和をはかる豊かなコミュニケーション力をもつ人材を養成する。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/department/policy/diploma/">https://www.soka.ac.jp/swc/department/policy/diploma/</a> ) (概要) 国際ビジネス学科では、以下の学識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位(短期大学士)を授与します。  1. 知識・理解 地球市民として求められる英語力や教養を身につけ、ビジネスに関する知識を修得している。 2. スキル ビジネススキル、コミュニケーションスキル、情報リテラシーを身につけ、活用できる。 3. 思考・判断 ビジネスと英語の知識やスキルを活用して、問題解決に必要な思考力や判断力を身につけている。 4. 関心・意欲・態度 目標を定め、実行し、評価できる自己管理能力を身につけ、多様な価値を尊重しながら、他者や社会に貢献するチームワーク力が発揮できる。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.soka.ac.jp/swc/department/policy/curriculum>)

### (概要)

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

教育課程として、グローバル社会における女性のエンパワーメントを目指した「教養科目」と、ビジネスの専門知識とスキルをバランスよく修得できる「専門科目」を配置しています。

特に初年次教育として、建学の指針および本学が目指す教育への理解を深める「創立の精神を学ぶⅠ・Ⅱ」（教養科目）と、大学での学びを知り、主体的、協働的な学びができる「基礎ゼミナール」（専門科目）、および「女性とキャリア形成」（教養科目）を必修にしています。

1. 教養科目では、仕事と生活、女性としての生き方を学ぶ「ライフデザイン科目」、地球市民としての意識を培い、SDGsについて学ぶ「地球市民科目」、および「外国語科目」、「ICT科目」、「キャリア教育科目」、「創価教育科目」の科目群を置いています。
2. 専門科目には、「ビジネス共通科目」と、4つの分野の科目群（「ビジネスホスピタリティ科目」、「簿記・会計科目」、「情報科目」、「グローバル科目」）を配置しています。

#### (1) ビジネス共通科目

「ビジネス共通科目」では、4つの科目群の学びの土台となる企業経営、経済、簿記、マーケティング等の基礎知識を修得します。能動的学修による「入門ゼミナール」、「ゼミナールA・B」の科目を置き、国際ビジネスの課題を様々な視点から学び、問題解決に必要な能力を身につけることができます。

#### (2) 4つの科目群

①「ビジネスホスピタリティ科目」では、「ビジネス実務の基礎」、「オフィスワーク」、「販売とサービス」、「観光とビジネス」等の科目を置き、グローバル化するビジネスの各分野の知識や実務を学びます。「秘書検定中級」、「ビジネス文書検定中級」の科目は、検定試験の中級合格を目指し、そのスキルを身につけることができます。

②「簿記・会計科目」では、企業の会計情報を分析し、企業活動に活かすための知識を学修するために、「経営分析論」、「現代会計学」、「コーポレートファイナンス論」等の科目を置いています。また「現代簿記」、「原価計算論」では、企業活動について組織的に記録・計算・整理するための知識とスキルを身につけ、「簿記検定初級」、「簿記検定中級」では、検定試験の合格を目標に、実践力を高めることができます。さらに、「パーソナルファイナンス」では、個人の金融・経済活動について学び、「FP初級」「FP中級」で資格取得を目指すことができます。

③「情報科目」では、ビジネス社会の情報技術の動向、情報が持つ社会的価値等を学ぶ「情報社会とビジネス」、「ビジネスと情報システム」の科目を置いています。さらに、「情報データ分析入門」、「メディア表現Ⅰ・Ⅱ」等の演習を通し、情報やデータを収集・分析する手法や、それをビジネス書類やプロモーション動画、Webページ等に表現するスキルを身につけ、活用することができます。

④「グローバル科目」では、グローバル社会で求められる英語力を養成します。「Global BusinessⅠ・Ⅱ」、「World Today」、「Discussion on Current TopicsⅠ・Ⅱ」の科目では、グローバル化するビジネスや環境、開発、人権等について学びます。Business Englishを習得するための「English for Service and Sales」、「Business Presentation Skills」等では、特にコミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につけます。また「English for Academic PurposesⅠ・Ⅱ・Ⅲ」では、Academic Englishの読解力、表現力を高めます。

3. 海外での語学研修で取得した単位を認定する「海外研修科目」、および各種資格・検定試験の上級合格をもって単位を認定する「資格認定科目」を設置しています。
4. 各授業科目の成績は、定期試験による判定の他に、授業時試験、レポート、プレゼンテーション等により評価します。
5. 本学科で要請される能力の達成度は、個々の学生における単位取得状況、GPA、資格、検定試験の取得状況等の直接的評価、および学修成果に対する達成度アンケートによる間接的評価により測定します。

#### 入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.soka.ac.jp/swc/department/policy/admission/> )

##### (概要)

創価女子短期大学はディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに則って、平和と調和の社会の建設に貢献する女性リーダーの育成を目指しています。そこで本学を志望する者に対して、「建学の指針」を理解し、高等学校までの教育で育成が期待される「学力の三要素」（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）にわたる基礎的な学習能力を備えていることを求めます。それらの能力を多面的に評価することを基本方針として入学試験を実施します。

1. 創価女子短期大学の「建学の指針」を理解し、本学での学習を希望すること。  
自己推薦入試（英語選抜型、資格・検定選抜型）、同窓生推薦入試、公募推薦入試では、これを出願資格とし、「面接」において評価します。
2. 高等学校までの教育において到達目標とされることの基礎学力を習得していること。  
自己推薦入試（英語選抜型、資格・検定選抜型）、同窓生推薦入試、公募推薦入試、一般入試では、知識・技能、思考力・判断力等の基礎学力を評価します。
3. 様々な能力を身につけていること。  
自己推薦入試（英語選抜型、資格・検定選抜型）、同窓生推薦入試、公募推薦入試では、本学の指定する英語、簿記、情報処理、ビジネス実務等の一定レベル以上の資格およびスコア等を優遇する措置を取ります。また、一般入試では、本学の指定する英語の一定レベル以上の資格およびスコア等を優遇する措置を取ります。
4. 問題解決のために主体性を持って多様な人々と協働して取り組んでいく資質と意欲を有すること。  
自己推薦入試（英語選抜型、資格・検定選抜型）、同窓生推薦入試、公募推薦入試では、「書類審査」と「面接」、「課題レポート（公募推薦入試）」において、高等学校等までの学習意欲や、取り組みにおける主体性・協働性、表現力等を評価します。
5. グローバル社会で活躍する強い意志を持ち、優秀な英語力を持っていること。  
自己推薦入試（英語選抜型）では英語能力を重視し、「書類審査」と「面接」で評価します。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/data/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
—	—	3人	3人	2人	人	人	8人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			人				27人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://fpes.soka.ac.jp/Main.php">https://fpes.soka.ac.jp/Main.php</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際ビジネス 学科	0人	0人	0%	150人	110人	73%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際ビジネス 学科	74人 (100%)	26人 (35.1%)	37人 (50.0%)	11人 (14.9%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	74人 (100%)	26人 (35.1%)	37人 (50.0%)	11人 (14.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際ビジネス学科	84人 (100%)	69人 (82.1%)	2人 (2.4%)	6人 (7.1%)	7人 (8.3%)
合計	84人 (100%)	69人 (82.1%)	2人 (2.4%)	6人 (7.1%)	7人 (8.3%)
(備考)					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>本学では、全教員（専任・非常勤）が授業計画（シラバス）を作成し、学内だけでなく、学外にもホームページにて公開をしている。</p> <p>作成スケジュールは以下の通り。①前年度の2月上旬に「シラバス作成のガイドライン」等を全教員に配布し、作成を依頼。②教員は3月上旬までに作成。③学科長が3月下旬までにシラバス内容のチェックを実施。④シラバスを当該年度の4月から公表。シラバスの内容は、①科目名、②単位数、③教員名、④開講期、⑤到達目標、⑥授業概要、⑦各授業回の授業計画（内容、事前事後学習の内容など）、⑧教科書、⑨履修上のアドバイス〔毎週の授業に必要な学習時間（小テスト、レポート、課題など）〕、⑩学習成果の内容・評価方法・配点率・学科の学習成果項目、⑪評価方法である。なお実務経験のある教員による授業科目については、その実務経験の内容を記載し公表している。</p>

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>「創価女子短期大学学則」、「創価女子短期大学成績に関する細則」ならびに「創価女子短期大学履修規定」に基づき、成績は試験及びレポート等の成績、出席状況を総合して評価し、合格点に達した科目について、それぞれ単位を授与する。本学の成績評価は、<b>A</b>、A+、A、B+、B、C+、C及びDの8級に分ち、C以上を合格とし、Dを不合格とする。全教員は各科目のシラバスに沿って、学習成果の内容・評価方法・配点率に従い、G Pで評価を行う。</p> <p>またG P A制度にて成績評価を行っている。G P Aは履修登録科目それぞれのG Pとその単位数を掛けた数値の総和を、R評価科目およびP F評価科目を除く履修登録科目のそれぞれの単位の総和で割り、算出している。詳細は本学ホームページに記載。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	国際ビジネス学科	62単位	有・無	18～24単位（学期により異なる）単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/">https://www.soka.ac.jp/swc/department/international-business/risyutebiki/</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ  
<https://www.soka.ac.jp/swc/about/disclosure/data/>  
<https://www.soka.ac.jp/swc/campuslife/institution/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	国際ビジネス学科	980,000 円	0 円	85,000 円	実習費、 休学中の在籍料 (年間)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学習支援センターを設置し、「資格取得」「英語学習」「日常的な学習」のサポートを行い、内容は本学ホームページにて公表をしている。 ( <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/department/learningsupportcentre">https://www.soka.ac.jp/swc/department/learningsupportcentre</a> )
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 教職員によって組織するキャリア支援委員会にて年度ごとの支援内容の検討を行い、正課と課外を連携させた進路支援を行っている。また、キャリア支援室を設置し、各種進路情報の発信や個別面談、少人数対策会を実施している。 内容は本学ホームページ ( <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/career/job/feature/">https://www.soka.ac.jp/swc/career/job/feature/</a> ) にて公表。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室に専任の看護師が常駐し日常的な健康管理を行うとともに、創価大学保健センターの医師・看護師とも連携をとり、学生の健康に関する支援を行っている。 学生相談室には専属のカウンセラーがおり、精神的なサポートを担っている。 学生支援のホームページ ( <a href="https://www.soka.ac.jp/swc/campuslife/support/">https://www.soka.ac.jp/swc/campuslife/support/</a> ) にて公表

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにて公表  
[https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu\\_information/](https://www.soka.ac.jp/swc/disclosure/edu_information/)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F213310104455
学校名 (〇〇大学 等)	創価女子短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人創価大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		66人（ 44 ）人	62人（ 39 ）人	70人（ 46 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	22人	20人	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
区分外（多子世帯）	26人	21人		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				70人（ 46 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定			0人	-
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)			0人	-
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況			0人	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。			0人	-
計			0人	-
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1		0人	-

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	-	-
計	人	11人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。